



TITLE:

# 高等教育教授システム開発センター業績(2000年9月～2001年8月)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

高等教育教授システム開発センター業績(2000年9月～2001年8月). 京都大学高等教育研究 2001, 7: 202-209

ISSUE DATE:

2001-09-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/54087>

RIGHT:

## 高等教育教授システム開発センター業績

(2000年9月1日～2001年8月31日)

藤岡完治(教授)

### 【著書など】

- ・藤岡完治・安酸史子・村島さい子・中津川順子『学生とともに創る臨床実習指導ワークブック(第2版)』医学書院、2001年3月、全145頁
- ・藤岡完治「第3章 学習方法・形態と教育課程の編成」柴田義松編『教育課程論』学文社、2001年3月、80-90頁

### 【学術論文など】

- ・藤岡完治「FD組織化の視点——教師教育のコース開発の知見から」大学のカリキュラム改革と授業改善『京都大学高等教育研究』第6号、2000年10月、23-31頁
- ・藤岡完治「大学授業の参加観察」『大学授業の参加観察プロジェクト報告(1)——大学授業の参加観察からFDへ——』京都大学高等教育叢書11、2001年3月、1-24頁及び37-56頁
- ・藤岡完治「附属学校と大学とのパートナーシップによる教育実践研究」『人間科学研究』第8巻第1号、神戸大学発達科学部人間科学研究センター、2001年3月、89-114頁
- ・藤岡完治「『教育実践臨床研究』の誕生」『教育メディア研究 情報教育実践ガイドV』藤沢市教育文化センター、2001年3月、125-142頁
- ・藤岡完治「附属学校と大学とのパートナーシップによる教育実習」平成10-12年度科学研究費補助金基盤研究(B)(1)研究成果報告書『第2章 教員養成・教員研修における大学と教育現場とのパートナーシップに関する実証研究』(研究代表：澤本和子)、2001年3月、18-27頁
- ・藤岡完治「大学の研究者と教育実践家の協働による『教育実践臨床研究』の創造——地方教育センターの研究部会の事例研究を通して——」平成10-12年度科学研究費補助金基盤研究(B)(1)研究成果報告書『終章 教員養成・教員研修における大学と教育現場とのパートナーシップに関する実証研究』(研究代表：澤本和子)、2001年3月、150-165頁

### 【その他の著作物】

- ・藤岡完治 書評「学力向上をめざす教育」(教育フォーラム27)『児童心理』Vol.53、No.18、金子書房、2000年10月、12-13頁
- ・藤岡完治「実践報告を受けて『教師論の立場から』」『京都大学高等教育研究』第6号、2000年10月、224-229頁
- ・藤岡完治「教師に求められる生徒理解の具体策——中学校の移行期の課題——(上)」『週間教育資料』No.688、日本教育新聞社、2000年11月、32-34頁
- ・藤岡完治「教師に求められる生徒理解の具体策——中学校の移行期の課題——(下)」『週間教育資料』No.689、日本教育新聞社、2000年11月、32-34頁
- ・藤岡完治「新しい「知」を育む」平塚市教育委員会『平塚教育』189号、2000年12月
- ・藤岡完治「学びと教えの王道を行く」『「ひらかれた学校・大岡」の新しい教育課程』横浜市立大岡小学校、2001年2月、8-11頁
- ・藤岡完治「授業研究」「共感的理解」「モジュラー学習」「インプットアウトプットモデル」日本カリキュラム学会編集『現代カリキュラム事典』ぎょうせい、2001年2月
- ・藤岡完治「カリキュラム開発研究センターに期待する」『子午線』第2号、神戸大学発達科学部附属明石校園カリキュラム開発研究センター、2001年3月、4頁
- ・藤岡完治「『教えることの知恵』で現場と研究者が交流(解説)」『週間教育資料』No.714、日本教育新聞社、2001年6月、6-7頁
- ・藤岡完治「新しい「知」をとらえる教員研修」『所報』No.67、広島市教育センター、2001年6月

- ・藤岡完治「大学の授業、同僚が参観」日本経済新聞、2001年7月

【学会報告など】

- ・藤岡完治「大学と附属学校のパートナーシップによる養成教育・現職教育の研究」教育工学関連学協会連合第6回全国大会、鳴門教育大学、2000年10月
- ・谷口知司・村瀬康一郎・藤岡完治・菊川健・加藤直樹「衛星放送の特徴を活かした多様な教育展開に関する考察」教育工学関連学協会連合第6回全国大会、鳴門教育大学、2000年10月
- ・藤岡完治・石村雅雄「授業の参加観察を取り入れたFDの組織化」教育工学関連学協会連合第6回全国大会、鳴門教育大学、2000年10月
- ・藤岡完治「大学授業の参加観察」日本教師学学会第3回大会、早稲田大学、2001年3月
- ・藤岡完治・石村雅雄「大学授業の参加観察プロジェクト報告（その1）——大学授業の参加観察からFDへ——」日本高等教育学会第4回大会、北海道大学、2001年5月

【FD講演会など】

- ・神戸大学工学部FD研究会 2000年10月2日
- ・北海道教育大学函館校FD研究会 2000年11月6日
- ・看護大学、短大教員FD懇談会 2000年12月27日
- ・北海道教育大学旭川校FD研究会 2001年1月31日
- ・京都大学高等教育教授システム開発センター、問題提起（第7回大学教育改革フォーラム「大学教員の教育能力をどう開発するか」 2001年3月24日
- ・兵庫県立看護大学FD研究会「学生による授業評価」 2001年3月27日
- ・京都大学高等教育教授システム開発センター／メディア教育開発センター共催 平成13年度SCS利用研修講座「授業改善のための学びあい——公開実験授業を通して」 2001年4月6日
- ・藤岡完治・石村雅雄「大学授業の参加観察プロジェクト（その1）」京都大学高等教育教授システム開発センター第45回公開研究会 2001年6月2日
- ・東京女子医科大学FD研究会 2001年7月18日

【その他の講演】

- ・関西教育セミナー（日本教育新聞社、人間教育研究会）講演「授業リフレクションの理論と方法」2001年8月11日

【非常勤講師など】

- ・東京女子医科大学「教育原論」 2001年4月～2002年3月
- ・SCS「教育工学特別講義」 2001年4月27日
- ・新潟大学免許法認定公開講座講師 2001年4月28日～29日

【社会における活動など】

- ・厚生省「介護福祉士試験検討会」委員
- ・メディア教育開発センター研究開発協力委員
- ・神奈川県「神奈川県立医療福祉大学（仮称）」設立準備委員会委員
- ・川崎市総合教育センター専門委員
- ・藤沢市教育文化センター専門委員
- ・日本教師学学会副会長
- ・新潟大学附属新潟中学校研究発表会講師 2000年11月2日
- ・相模原市立相武台中学校研究発表会講師 2000年11月16日
- ・横浜市立大岡小学校研究発表会講師 2001年2月9日

【学内委員など】

- ・京都大学全学シンポジウム「京都大学における教育評価（授業評価・成績評価等）の在り方」パネルディスカッション提案者 2001年8月31日～9月1日

## 田 中 毎 実 (教授)

### 【著書など】

- ・田中毎実「序章／大学授業のフィールドワーク」および「第5章／大学授業の実践的研究」京都大学高等教育教授システム開発センター編『大学授業のフィールドワーク——京都大学公開実験授業——』2001年3月、玉川大学出版部、13-33頁、及び185-211頁

### 【学術論文など】

- ・田中毎実「学級の日常的生成と歴史的生成／シンポジウム『学級の思想』」『近代教育フォーラム』第9号、教育思想史学会、2000年9月、97-106頁
- ・田中毎実・赤堀侃司・今井重孝・藤岡完治「大学カリキュラム改革と授業改善」『京都大学高等教育研究』第6号、2000年9月、1-34頁（分担1-8頁、32-34頁）
- ・田中毎実「京都大学」、平成10年度～平成12年度文部省科学研究費補助金（基盤研究(B)(1)）研究代表者有本章／研究成果報告書『大学設置基準の大綱化に伴う学士課程カリキュラムの変容と効果に関する総合的研究』2001年3月、135-139頁
- ・田中毎実「公開実験授業プロジェクト第Ⅱ期第2年度について」京都大学高等教育教授システム開発センター『平成12年度公開実験授業の記録』京都大学高等教育叢書10、2001年3月、1-12頁
- ・田中毎実「おわりに」『大学授業の参加観察プロジェクト報告(1)——大学授業の参加観察からFDへ——』京都大学高等教育叢書11、2001年3月、33-35頁

### 【その他の著作物】

- ・田中毎実「問題提起」『京都大学高等教育研究』第6号、2000年10月、190-194頁
- ・田中毎実「遠隔講義におけるオンラインとオフラインの協働について」『ニューズレター／高等教育改革とマルチメディア』メディア教育開発センター研究開発部、2001年1月、42頁
- ・田中毎実「書評／安岡高志ほか『授業を変えれば大学は変わる』」『大学論集／第31集』広島大学高等教育研究開発センター、2001年3月、247-249頁
- ・田中毎実「大学における授業改革を考える」『創造と実践／No. 1』大阪大学全学共通教育機構・教育方法研究委員会、2001年3月、36-37頁
- ・田中毎実「学生の授業参加を促す」『ファカルティ・デベロップメント（FD）研修会報告書／学ぶ主体をどう回復するか——授業展開とカリキュラム編成上の工夫』島根大学全学教育委員会、2001年3月、5-34頁
- ・田中毎実「FDの現在」『経済学・経営学ファカルティ・デベロップメント（FD）研究報告書』京都大学大学院経済学研究科・経済学部FD研究会、2001年3月、101-105頁
- ・田中毎実ほか「教育改革の今日的意義——教育研究と教育実践——」『平成12年度調査研究報告書／21世紀を展望した子どもの人間形成に関する総合的研究』財団法人伊藤忠記念財団、2001年3月、326-336頁

### 【学会報告など】

- ・田中毎実「大学の授業改善と情報技術革新」特別講演Ⅱ 平成12年度情報処理研究集会、京都大学、2000年12月8日
- ・田中毎実「大学教育の教授法・カリキュラム開発（課題研究Ⅱ 大学におけるFDカリキュラムの実践と課題）」日本カリキュラム学会第12回大会、東北大学、2001年6月30日

### 【FD講演会など】

- ・神戸女子大学「大学の授業改善とFD」2000年9月30日
- ・神戸女学院大学教員研修会 2000年10月12日
- ・山形大学 公開授業検討会及びシンポジウム 2000年11月29-30日
- ・大阪大学 パネルディスカッション「大学における授業改革を考える」2000年12月1日
- ・奈良女子大学 FD講演会 2000年12月14日
- ・看護研修研究センター「高等教育における授業研究」2001年1月19日
- ・島根大学 FD研修会 2001年1月31日

- ・大学セミナーハウス 第27回大学教員研修プログラム「大学の教育力」2001年1月12日-14日
- ・山形大学 公開授業及び検討会、FDシンポジウム 2001年1月28-30日
- ・お茶の水女子大学 FDに関する講演会 2001年3月13日
- ・メディア教育開発センター「授業研究：自分の授業を振り返る」 2001年3月23日
- ・京都大学高等教育教授システム開発センター「大学における授業研究の立場から」提案（第7回大学教育改革フォーラム「大学教員の教育能力をどう開発するか」）2001年3月24日
- ・信州大学「教官相互による授業評価の意味」2001年3月27日
- ・京都大学高等教育教授システム開発センター／メディア教育開発センター共催 平成13年度SCS利用研修講座「授業改善のための学びあい——公開実験授業を通して」2001年4月6日
- ・松山大学 中国四国地区私立大学教職課程連絡協議会春期研究協議会講演「FD事業の現況」 2001年4月21日
- ・京都大学全学シンポジウム「京都大学における教育評価（授業評価、成績評価等）の在り方」コーディネーターおよびグループディスカッション司会など、8月31日～9月1日

【非常勤講師など】

- ・大阪大学大学院人間科学研究科非常勤講師「教育人間学」（2000年4月～2001年3月）
- ・鳴門教育大学大学院学校教育研究科非常勤講師「人間形成基礎論」（2000年4月～2001年3月）
- ・神戸大学国際文化学部特別講師「自己と他者」（2001年1月）
- ・奈良女子大学大学院文学研究科非常勤講師「生涯教育学特殊研究」（2001年4月～2002年3月）

【社会における活動など】

- ・教育思想史学会理事
- ・メディア教育開発センター 研修事業委員会委員
- ・大学セミナーハウス 大学教員研修プログラム委員
- ・島根大学法文学部外部評価委員

【学内委員など】

- ・京都大学調整評価小委員会委員
- ・京都大学自己点検・評価実行委員会委員、編集作業部会委員（～2001年3月）
- ・京都大学人間・環境学研究科及び総合人間学部の組織改編に関する専門委員会委員
- ・京都大学大学院工学研究科自己点検・評価委員

石 村 雅 雄（助教授）

【著書など】

- ・石村雅雄「第2章第6節 ベトナム」、村田翼夫編著『東南アジア諸国の国民統合と教育』東信堂、2001年2月、117-130頁
- ・石村雅雄「12章第2節 教育課程の経営、同章第3節 生徒指導と学校教育」、日本教育経営学会編『諸外国の教育改革と教育経営』玉川大学出版部、2001年2月、196-202頁
- ・石村雅雄「第Ⅱ部第2章 旧帝国大学系大学における『教育学部』の成立」、TEES研究会編『「大学における教員養成」の歴史的研究』学文社、2001年3月、199-218頁
- ・石村雅雄「第3章第1節 公開実験授業検討会——その構造——」京都大学高等教育教授システム開発センター編『大学授業のフィールドワーク——京都大学公開実験授業——』玉川大学出版部、2001年3月、142-156頁

【学術論文など】

- ・石村雅雄「高等学校と大学の接続に関する研究（その3）——『学力』問題を手がかりとした中間総括——」『京都大学高等教育研究』第6号、2000年10月、53-64頁
- ・石村雅雄「日本での法人化をめぐる議論の進行状況と課題」及び「〈討論とまとめ〉：大学が法人によって運営されることの意味」『教育制度学研究』第7号、2000年11月、107-112頁
- ・京都大学高等教育教授システム開発センター『平成12年度公開実験授業の記録』京都大学高等教育叢書10、2001

年3月、全312頁

- ・石村雅雄「授業参加観察をFDにどう繋げるか——授業から立ち上がる生成的なFDを構想する——」京都大学高等教育教授システム開発センター『大学授業の参加観察プロジェクト報告(1)——大学授業の参加観察からFDへ——』京都大学高等教育叢書11、2001年3月、25-31頁

【その他の著作物】

- ・石村雅雄「相互研修の立場から」『京都大学高等教育研究』第6号、2000年10月、216-223頁
- ・石村雅雄「教授方法の改善——京都大学センターでの取り組みを中心に——」阿南工業高等専門学校教官夏期研修会報告書、2000年10月、2-9頁
- ・石村雅雄「京都大学における教育改革の一場面——高等教育教授システム開発センターの役割を中心に——」第8回教育改革シンポジウムの記録（大阪市立大学）、2001年3月、4-16頁及び55-66頁
- ・石村雅雄「授業観察プロジェクトによるFDの自己組織化——京都大学高等教育教授システム開発センターの現段階——」財団法人大学コンソーシアム京都『2000年度 第6回FDフォーラム報告集——学生の学習意欲向上のために——』財団法人大学コンソーシアム京都、2001年3月、34-52頁
- ・石村雅雄「『授業参加観察に関する座談会』記録」京都大学高等教育教授システム開発センター『大学授業の参加観察プロジェクト報告(1)——大学授業の参加観察からFDへ——』京都大学高等教育叢書11、2001年3月、57-84頁
- ・石村雅雄・宮本浩司他「2002年度からの新学習指導要領に対応した家庭での教育のあり方」『ぜとらん』増刊号、増進会出版社、2001年7月15日
- ・国立学校財務センター『欧米主要国の大学ファンディング・システム』2001年8月（フランスの箇所を分担）。

【学会報告など】

- ・松坂浩史・石村雅雄「特徴ある公施設法人としてのフランスの大学における契約事業の展開」フランス教育学会第18回大会、清泉女子大学、2000年9月24日
- ・藤岡完治・石村雅雄「授業の参加観察を取り入れたFDの組織化」教育工学関連学協会連合第6回全国大会、鳴門教育大学、2000年10月7日
- ・石村雅雄「現代大学生の知的状況——教師教育との関わりから」（課題研究）、日本教師教育学会第10回大会、愛知県立大学、2000年10月8日
- ・藤岡完治・石村雅雄「大学授業の参加観察プロジェクト報告（その1）——大学授業の参加観察からFDへ——」日本高等教育学会第4回大会、桜美林大学、2001年5月25日
- ・石村雅雄「国公立大学における教養教育の評価」（研究交流部会指定報告者）大学教育学会第23回大会、桃山学院大学、2001年6月10日

【FD講演会など】

- ・石村雅雄「京都大学における教育改革の一場面——高等教育教授システム開発センターの役割を中心に——」大阪市立大学第8回教育改革シンポジウム「大学教育改革の現状」、大阪市立大学、2000年11月29日
- ・石村雅雄「大学での学生の学びについて——大学生の学力低下問題を手がかりにして——」、大谷大学FD研究会、2000年12月1日
- ・石村雅雄「授業観察プロジェクトによるFDの自己組織化——京都大学高等教育教授システム開発センターの現段階——」財団法人大学コンソーシアム京都 2000年度 第6回FDフォーラム、京都産業大学、2000年12月16日
- ・石村雅雄「高等学校との接続研究の課題」、関西国際大学高等教育研究所研究員集会、神戸勤労福祉会館、2000年12月28日
- ・京都大学高等教育教授システム開発センター／メディア教育開発センター共催 平成13年度SCS利用研修講座「授業改善のための学びあい——公開実験授業を通して」2001年4月6日
- ・石村雅雄「授業参加観察をFDにどう繋げるか？授業から立ち上がる生成的なFDを構想する」、大谷大学FD研究会、2001年5月11日

- ・石村雅雄「授業検討会をいかに進めるか——社会学科導入教育を素材として——」、大谷大学FD研究会、2001年6月27日
- ・石村雅雄「日本の大学」財団法人大学コンソーシアム京都・提供講義「日・中・韓の大学教育」(環日本海フォーラム後援)、キャンパスプラザ京都、2001年8月4日

【その他の講演】

- ・石村雅雄・宮本浩司他「2002年度からの新学習指導要領に対応した家庭での教育のあり方」朝日家庭教育シンポジウム(主催:朝日学生新聞社)、大阪森ノ宮ピロティールホール、2001年2月24日

【社会における活動など】

- ・日本教育制度学会理事
- ・日仏教育学会紀要編集委員会委員
- ・国立学校財務センター「大学の設置形態と財務に関する比較研究」客員研究員
- ・関西国際大学高等教育研究所客員研究員
- ・大谷大学FD研究会客員研究員

【学内委員など】

- ・京都大学自己評価・評価実行委員会委員(～2001年3月)

大 山 泰 宏(助教授)

【著書など】

- ・大山泰宏「因果性の虚構とこころの現実」河合隼雄編『講座心理療法(第7巻)心理療法と因果的思考』岩波書店、2001年2月、123-165頁
- ・大山泰宏「こころの現実性」「ユングVSフロイト」「コラージュ」山中康裕編『ユング』講談社、2001年3月、68-71、86-93、164-165頁
- ・大山泰宏「相互行為としての授業——公開実験授業における相互行為の構造——」京都大学高等教育教授システム開発センター編『大学授業のフィールドワーク——京都大学公開実験授業——』玉川大学出版部、2001年3月、38-59頁
- ・大山泰宏「京大の教官の研究内容(大山泰宏分)」京都大学心理学教官連絡会編『21世紀の心理学に向かって——京都大学の現状と未来——』ナカニシヤ出版、2001年8月、150-153頁

【学術論文など】

- ・京都大学高等教育教授システム開発センター編『平成12年度公開実験授業の記録』京都大学高等教育叢書10、2001年3月、172-177頁

【その他の著作物】

- ・大山泰宏『大学教育の長期的指標に関する研究——新制大学の歴史的検討を手がかりとして——』京都大学教育研究振興財団 平成12年度第1号事業助成成果報告書、2001年1月、全30頁
- ・(パネルディスカッション記録)『全学シンポジウム 京都大学における教育評価報告書』、2001年3月、25-30頁。

【学会報告など】

- ・大山泰宏「大学における教授法研究・開発の実践」教育工学関連学協会連合第6回全国大会、鳴門教育大学、2000年10月7日

【FD講演会など】

- ・大山泰宏「競争的環境の中で学生サービスを考える」東海高等教育研究所職員部会「フォーラム スタッフ・オピニオン」、2000年12月16日
- ・九州芸術工科大学「FD研究会・SCS開局記念講演」、2000年11月22日
- ・大山泰宏「キャンパスにおけるメンタルヘルス・システムづくり」三重大学「学生支援に関連した第1回メンタルヘルス集中セミナー」、2001年3月19日

- ・京都大学高等教育教授システム開発センター／メディア教育開発センター共催 平成13年度SCS利用研修講座「授業改善のための学びあい——公開実験授業を通して」2001年4月6日

【その他の講演】

- ・京都第二赤十字病院「卒後研修Ⅱ」研修講師、2000年10月31日
- ・大阪市環境保健局「看護職員研修」研修講師、2001年1月30日
- ・児童養護施設立正学園「処遇検討会」講師、2001年6月26日
- ・大阪府看護協会「大阪府看護管理者研修」研修講師、「交渉力——アサーティヴコミュニケーション」、2001年7月27日

【非常勤講師など】

- ・京都第二赤十字看護専門学校非常勤講師「心理学」（2000年10月～2001年3月）
- ・京都第二赤十字看護専門学校非常勤講師「教育キャンプ」（2001年3月）

【社会における活動など】

- ・日本心理臨床学会「カリキュラム委員会」委員
- ・京都府警察本部「新政策形成研究会『犯罪被害者支援』」研究者
- ・医療法人竹村診療所心理カウンセラー

【学内委員など】

- ・京都大学自己点検・評価実行委員会委員、編集作業部会委員（～2001年3月）
- ・京都大学全学シンポジウム「京都大学における教育評価（授業評価、成績評価等）の在り方」イブニング・ディスカッション第2班「学生による教育評価」副班長、2001年8月30～31日
- ・京都大学調整評価小委員会委員
- ・京都大学大学院教育学研究科附属臨床教育実践センター心理教育相談室カウンセラー
- ・京都大学大学院工学研究科自己点検・評価委員

溝 上 慎 一（講師）

【著書など】

- ・溝上慎一「自我と自己」久世敏雄・斎藤耕二監修『青年心理学事典』福村出版、2000年11月、148頁
- ・溝上慎一・水間玲子「授業過程の評価指標としての学生の『顔上げ』行動」京都大学高等教育教授システム開発センター編『大学授業のフィールドワーク——京都大学公開実験授業——』玉川大学出版部、2000年3月、99-119頁
- ・溝上慎一「自己の発達——自己の形成過程と自己理解による自己成長——」米谷淳・米澤好史編著『行動科学への招待——現代心理学のアプローチ——』福村出版、2001年4月、106-117頁
- ・溝上慎一「京大の教官の研究内容（溝上慎一分）」京都大学心理学教官連絡会編『21世紀の心理学に向かって——京都大学の現状と未来』ナカニシヤ出版、2001年8月、154-157頁

【学会報告など】

- ・溝上慎一「相互行為のある授業を意味構造の変化として捉える——ポジション理論を導入して——」大学教育学会第23回大会、桃山学院大学、2001年6月9日
- ・Mizokami, S. “How can we approach the social or developmental contexts and their influences upon meaning construction for adolescent students?: From the perspective of position theory.” Xth European Conference on Developmental Psychology. Sweden: Uppsala University. 2001年8月24日

【非常勤講師など】

- ・大手前大学社会文化学部非常勤講師「心理学研究法」（2001年4月～）



## 神 藤 貴 昭（助手）

### 【著書など】

- ・神藤貴昭・尾崎仁美「大学授業における教授者と学生の相互作用——教授者の「ノリ」に注目して——」京都大学高等教育教授システム開発センター編『大学授業のフィールドワーク——京都大学公開実験授業——』玉川大学出版部、2001年5月、120-135頁
- ・神藤貴昭「青年期の心理と性格」米谷淳・米澤好史（編）『行動科学への招待——現代心理学のアプローチ』福村出版、2001年4月、22-34頁
- ・神藤貴昭「京大の教官の研究内容（神藤貴昭分）」京都大学心理学教官連絡会（編）『21世紀の心理学に向かって——京都大学の現状と未来』ナカニシヤ出版、2001年8月、158-161頁

### 【学術論文など】

- ・神藤貴昭・伊藤崇達「高等学校と大学の接続に関する研究（その2）——大学の学業文化への参入と学習方略の変容——」『京都大学高等教育研究』第6号、2000年8月、35-52頁
- ・神藤貴昭・田口真奈「授業枠のゆらぎ——大学における学生主導型授業構築の可能性——」『教育方法学研究』第26巻、2001年3月、119-127頁
- ・木村朋子・下坂剛・西田裕紀子・齊藤誠一・伊藤崇達・神藤貴昭・柳原利佳子・久木山健一・山口昌澄・原田実・榎本千春・坂本由佳・前川雅子・藤井智子「現代青少年の「キレる」ということに関する心理学的研究(2)——ゲームセンターおよびコンビニエンスストアの利用状況とキレ行動の関連——」『神戸大学発達科学部研究集録』第8巻第2号、2001年3月、35-40頁
- ・京都大学高等教育教授システム開発センター『平成12年度公開実験授業の記録』京都大学高等教育叢書10、2001年3月、全312頁
- ・神藤貴昭・田口真奈・村上正行「KKJ（Kyoto-Keio Joint Seminar）実践について——京都大学から見た平成11年度の実践を中心に——」『研究報告』第24号（波多野和彦（編）／伊藤秀子（研究代表者）「オンライン・コースにおける授業の評価・改善に関する実践的研究」）、文部科学省メディア教育開発センター、2001年3月、33-39頁

### 【学会報告など】

- ・神藤貴昭・尾崎仁美「大学授業における授業者のストレス過程(1)——ストレッサー、対処行動の分類とストレス過程の質的検討——」日本教育心理学会第42回大会、東京大学、2000年9月16日
- ・尾崎仁美・神藤貴昭「大学授業における授業者のストレス過程(2)——ストレス対処からみた授業者の成長——」日本教育心理学会第42回大会、東京大学、2000年9月16日
- ・神藤貴昭・田口真奈・村上正行「KKJ実践における授業設計と教員の役割」教育工学関連学協会連合第6回全国大会、鳴門教育大学、2000年10月7日
- ・田口真奈・村上正行・尾澤重知・神藤貴昭「KKJ実践におけるインターネットの役割」教育工学関連学協会連合第6回全国大会、鳴門教育大学、2000年10月7日
- ・神藤貴昭「企業における職務ストレスに関する研究——上場企業の男子社員について——」日本発達心理学会第15回大会、鳴門教育大学、2001年3月27日

### 【FD講演会など】

- ・京都大学高等教育教授システム開発センター／メディア教育開発センター共催 平成13年度SCS利用研修講座「授業改善のための学びあい——公開実験授業を通して」2001年4月6日

### 【非常勤講師など】

- ・神戸大学国際文化学部特別講師「自己と他者」（2001年1月）
- ・大手前大学人文科学部非常勤講師「心理学研究法」（2001年4月～）

### 【社会における活動など】

- ・文部科学省メディア教育開発センター共同研究員（共同研究分野名：オンライン・コースにおける授業の評価・改善に関する実践的研究）（2000年4月～2001年3月）